

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3816409	陶芸と生活アート Ceramics and Lifeart	梅田 洋	レ	専門	1	選択	1.2年前期

**科目の概要**

陶芸を用いて創造力を養い、生活における表現力向上と現代の工芸への専門的知識・技術を習得する。「食の器、住の器」を自らの発想と表現力で制作実習し、課題作品をコーディネートしプレゼンテーションを行う。授業をとおして、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、個性的な創作表現ができるように潜在能力開発に努める。ディプロマ・ポリシー③④に相当する。  
 ★陶芸作家としての経験から、制作上の実践的な技術を指導し、作品完成までのプロセスの中で専門的立場からアドバイスを行って完成度の高い作品制作に導いていく。

学修内容	到達目標
① 陶芸制作の技法を取得する。 ② 工芸の基本的知識と素材を学ぶ。 ③ 陶芸制作を通じて表現力・発信力の向上を養う。	① 陶芸制作を通じて丁寧に取り組む姿勢を身につけ作品を作り上げる事ができる。DP③ ② 工芸の技法や素材等の基本的知識を習得する事ができる。DP③ ③ 自己の価値観を確立し、創造力を高める事ができる。DP③④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	陶土の特徴を捉え、陶芸の技術を積極的に身に付けて自己表現にて作品制作する。
	働きかけ力	
	実行力	技術の上達を目指して作陶を行い、新たな可能性を探究する。
考え抜く力	課題発見力	造形制作の中でアイデアを実践し、より良い工程を模索して制作活動を行う。
	計画力	
	創造力	自身の描くシチュエーションを意識して作陶を進める中で創意工夫し制作する。
チームで働く力	発信力	自己表現を明確にし課題に向き合い、有意義な作品提案に取り組む。
	傾聴力	デモンストレーションをしっかりと視聴し、工程の疑問点、技術的な問題点は積極的に質問する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：必要に応じてプリントを配布する。  
 参考文献：なし

**他科目との関連、資格との関連**

他の科目との関連：デッサン、基礎デザイン、クリエイティブデザイン  
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
自分の個性を大切にオリジナルの器制作をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻や欠席しないように作品を制作する。</li> <li>汚れてもよい服装をしてくる。</li> <li>作品製作費・・・陶芸材料費3,000円程度</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		20	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性や技術に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S：Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた評価となっている。</p>	<p>B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザインや陶芸の技術・知識を身につけている。</p> <p>C：Bの基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「ガイダンス」 授業内容説明。 連絡や注意事項など確認。	講義と実技 生活における陶磁器の 役割と可能性について 説明する。焼成までの 過程・制作方法の説明 後に各自制作に向け検 討する。	授業の目的や意義を理 解し制作に対して準備 できている。	(復習)授業説明会での 連絡や注意事項など確 認しまとめておく。	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
2・3	「陶芸作品制作①Myプ レート」 作陶工程・紐作り技法 と焼き上がりまでの過 程について。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。PCを活用して制 作作品のデザイン情報 を得る。作品は確認 後、フィードバックし 講評する。	紐作り技法の制作方法 を理解し、作陶する事 ができる。	(予習)陶芸の技法につ いて、説明事項をまと める。 (復習)紐作り技法の 制作方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
4・5	「陶芸作品制作②Myプ レート」 仕上げ工程・道具を使 用し仕上げ削りの手順 や技法などについて。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。PCを活用して制 作作品のデザイン情報 を得る。作品は確認 後、フィードバックし 講評する。	陶芸道具の特徴を捉 え、作品を仕上げ事が できる。	(予習)造形イメージと 「器」使用時のコー ディネートを考える。 (復習)仕上げ工程と道 具の扱い方を確認しま とめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
6・7	「陶芸作品制作③Myプ レート」 装飾工程・絵付け、カ ラーリングや装飾技法 の手順や種類などにつ いて。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。PCを活用して作 品のデザイン情報を得 る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	装飾技法を理解し、期 日までに仕上げるこ とができる。	(予習)カラーイメージ とイメージ図案をまと めておく。 (復習)陶磁器用顔料の 性質をまとめる。作陶 から仕上げまでの制作 記録をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
8・9	「陶芸作品制作④光を パッケージ」 制作課題の説明。イ メージ図案の作成と工 程の確認。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。イメージ図案はP Cにより情報収集した デザインを活用する。 作品は確認後、フィー ドバックし講評する。	制作工程を計画し、制 作方法を考える事がで きる。	(予習)身近にある照明 を工芸美術の視点から 考える。 (復習)完成後のセッ ティングイメージをま とめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
10・ 11	「陶芸作品制作⑤光を パッケージ」 制作方法について、今 までの学習をもとに能 率的な方法にて作品制 作。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	制作手順を計画し、制 作方法を考える事がで きる。	(予習)立案した計画の 確認。 (復習)今後の工程を確 認、制作記録をまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
12・ 13	「陶芸作品制作⑥光を パッケージ」 前回検討した制作方法 に沿って、作品制作。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	制作技法を正しく習得 し期日までに仕上げる 事ができる。	(予習)立案した計画の 確認。 (復習)制作記録をまと める。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力
14	作品のまとめ 焼成作品の受け渡しと 陶器取り扱いの注意点 について。作品発表に ついて説明。	講義と実技 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	陶器取り扱いを理解 し、プレゼンテーショ ンへの計画をする事が できる。	(予習)作品のコーディ ネートを考える。 (復習)プレゼンテー ションに向け実際に コーディネートを試 す。	90	実行力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
15	作品講評会（オンライン） これまで作陶した作品を 発表する。制作作品から 共に学び合う。	演習（オンライン・オン デマンド） 作品について、「タイトル」、 デザインの特徴、コーディネート 提案発表をPC上で実施する。 全員の作品について講評会 を行い、終了後にフィード バックする。	作品を発表し、他作品を 評価する事ができる。	(予習)作品の画像を撮 影してclassroomに アップする。 (復習)自己作品の振り 返しを行い、陶芸の魅 力について検証する。	90	実行力 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力